

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 関東職業能力開発大学校 開催結果

1	日時	令和7(2025)年11月17日(月) 午後1時30分～3時30分
2	場所	関東職業能力開発大学校 視聴覚室
3	出席者	参加者41名(男性38名、女性3名) 県側出席者：知事、総合政策部長、政策調整監
4	発言数	10件(うちアンケート2件)

主な発言事項

No.	発言事項	関係部局
1	若者が栃木で働きたいと思える魅力づくりや支援策について (アンケート)	産業労働観光部
2	スタートアップ企業への支援について	産業労働観光部
3	UIターン支援について	総合政策部、産業労働観光部
4	栃木の魅力・魅力向上のための取組について (アンケート)	総合政策部
5	世界に誇る文化財・伝統工芸品を維持するための取組について	生活文化スポーツ部、産業労働観光部
6	知事として最も発展させたい分野について	環境森林政策部、産業労働観光部、農政部
7	県内交通の利便性向上について	県土整備部
8	栃木県内のおすすめの場所について	産業労働観光部
9	栃木県内の穴場の観光地について	産業労働観光部、農政部
10	知事になる方法について	総合政策部

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 関東職業能力開発大学校 開催結果

区分：地域版 開催日：令和7(2025)年11月17日(月)

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
1	若者が栃木で働きたいと思える魅力づくりや支援策について	アンケート1位 (生産電子情報システム技術科 2年)	若者が栃木県で働きたいと思えるような魅力づくりや支援策にはどのような取り組みを行っているのか教えてほしい。	<p>回答者：知事</p> <p>栃木県では、若者の県内就職を促進するため、就職支援サイト「WORKWORK（わくわく）とちぎ」や「とちまる就活アプリ」を通じて、企業の魅力や大手求人サイトとの連携した求人情報を発信しているほか、働く若者や企業へのインタビュー記事の掲載や、栃木の多様な仕事の発信をする「トチギスト」というサイトを運用するなど、デジタルマーケティングを活用した効果的な情報提供にも力を入れている。</p> <p>また、企業が従業員の奨学金返還を支援した場合に県が補助をする「とちぎ奨学金返還企業応援事業」を新設した。一方で、公務員以外で県内に新規就職する人を対象に、最大150万円の奨学金返済を支援する既存制度も継続している。</p> <p>加えて、仕事と家庭の両立を支援するため、男性の育児休業取得を促進し、働き方改革に精通したコンサルタントを企業に派遣して伴走支援を実施している。</p> <p>さらに、女性や若者の雇用創出効果が高い情報通信産業を対象に、県内立地企業への家賃補助や雇用時の人件費補助を行う「女性活躍オフィス立地拡大補助金」を昨年度から開始した。</p> <p>これらの施策を通じて、若者が「栃木で働きたい」と思える環境づくりを進め、企業の魅力向上と働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。</p>	<p>産業労働観光部 産業政策課 (企業立地班) TEL:3202</p> <p>労働政策課 (雇用対策担当) TEL:3224 (労働経済・福祉担当) TEL:3536</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
2	スタートアップ企業への支援について	生産機械システム技術科 2年	スタートアップ企業やベンチャー企業に対してどのような支援をしているのか教えて欲しい。	<p>回答者：知事</p> <p>起業支援では、革新的技術やアイデアによるイノベーションを生み出し、新たな製品・サービスを提供するとともに、若者・女性の雇用拡大につながるスタートアップ企業の創出・規模拡大を後押ししている。さらに、創業に必要な人材育成、地域課題解決型事業の立ち上げ、事業継続に関する支援も実施している。</p> <p>また、資金面では、金融機関と連携し、県融資制度による「創業支援資金」を提供している。</p> <p>さらに、スタートアップ企業支援や創業支援としては、「スタートアップ企業支援事業」が3分野、「エコシステム形成支援事業」、「スタートアップ企業交流イベント開催事業」、「とちぎまるごと創業プロデュース事業」など複数のメニューを用意している。</p> <p>特に「とちぎまるごと創業プロデュース事業」では、地域課題解決型創業支援補助金を設け、補助率は1/2、限度額は最大200万円までとしているので、こうした制度をぜひ活用していただければありがたい。</p>	<p>産業労働観光部 経営支援課 (金融担当) TEL:3181 (商業活性化担当) TEL:3177</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名（担当）
3	UIターン支援について	生産電気システム技術科 2年	UIターン支援の取組について教えて欲しい。	<p>回答者：知事</p> <p>栃木県では、UIターン支援として、県内の高校生等が地域づくり活動や地域の担い手との交流を通し、地域課題の解決策を検討することで地域への愛着を高めることにより、将来の地域定着を促進することを目的に、「とちぎ高校生地域定着活動支援事業」を実施している。</p> <p>また、若者が栃木に残りたい、戻ってきたいと思えるような環境をつくるためには、行政だけでなく民間企業も巻き込んだ取組も重要であるため、今年度は、各分野の代表者を委員とする「人口未来会議」を設置し、結婚や子育て支援、女性の活躍推進などに向けた行動計画を64項目に分けマンダラチャートに書き上げ、企業への実践を呼びかけているところである。</p> <p>さらに、県による創業支援に加え、（公財）栃木県産業振興センター等でも、創業間近の人に相談やアドバイスを受けながら事業を進める取組が行われている。</p> <p>こうした取組を通じて、地域定着とUIターン促進、創業・起業支援を進めている。</p>	<p>総合政策部 総合政策課 （政策企画・地方創生担当） TEL:2206</p> <p>地域振興課 （地域づくり支援担当） TEL:2257</p> <p>産業労働観光部 産業政策課 （次世代産業創造室・産業戦略チーム担当） TEL:3203</p> <p>経営支援課 （商業活性化担当） TEL:3177</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
4	栃木の魅力・魅力向上のための取組について	アンケート2位 (建築施工システム技術科 2年 ほか4名)	栃木県の魅力と、魅力向上のために取り組んでいることについて聞きたい。	<p>回答者：知事</p> <p>栃木県の魅力として、まず歴史・文化資源が挙げられる。国宝の数が全国で10番目も多く、特に昨年で世界遺産登録25周年を迎えた「日光の社寺」は国宝を多数保有している。また、日本で唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている日光杉並木街道もあり、歴史・文化資源が豊富である。</p> <p>食の分野では、半世紀以上にわたりイチゴの生産量が日本一を誇り、県南を中心に生産している二条大麦も生産量が日本一である。さらに県北では、生産量全国2位の生乳を使用したチーズの生産力・技術力が高まり、様々なコンテストで優勝するなど、チーズづくりも盛んである。加えて、かんぴょうやもやしなど、全国で1位の農産物が多数存在する。ニラについては全国2位になってしまったので、日本一奪還に向けて動き出している。</p> <p>自然資源としては、鬼怒川や塩原などの温泉地があり、源泉数は全国10位である。県ではこれらの魅力ある地域資源を活用し、SNSを用いた戦略的な情報発信やプロモーションに取り組んでいる。</p>	<p>総合政策部 広報課 (プロモーション戦略室) TEL:2176</p> <p>保健福祉部 医薬・生活衛生課 (温泉・薬物対策担当) TEL:3119</p>
5	世界に誇る文化財・伝統工芸品を維持するための取組について	生産電気システム技術科 2年	栃木県には、日光東照宮や益子焼など、世界に誇る文化財や伝統工芸品があると思うが、今後それらを維持・伝承していくための取組について教えて欲しい。	<p>回答者：知事</p> <p>日光の二社一寺では、日光社寺文化財保存会という木工・漆・飾り金物などの伝統技法を継承するための組織が整備されており、自ら技術者を育成し、技術の伝承や修理を行っている。</p> <p>焼き物については、益子に「栃木県立窯業技術支援センター」を設置し、焼き物の技術を学ぶことができる仕組みを整えている。県内外から集まった人材がここで学び、独立して益子町内で活動を始めており、県が技術指導を担っている。</p> <p>また、世界無形文化遺産に登録されている結城紬については、小山にある「紬織物技術支援センター」で研修生が昔ながらの機械を使って織る技術を習得しており、桑や蚕の生産も含めて支援している。</p> <p>一方、足利では繊維産業が衰退したものの、県立の「繊維工業技術センター」で新しい分野の商品開発を支援しており、若手経営者がパリコレに出品するなど、新たな動きも生まれている。</p> <p>これらの技術者は、引き続き地元での後継者育成の取組を進めていく考えである。</p>	<p>生活文化スポーツ部 文化振興課 (文化財保護担当) TEL:3421</p> <p>産業労働観光部 工業振興課 (ものづくり企業支援室) TEL:3192</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
6	知事として最も発展させたい分野について	生産電気システム技術科 2年	知事が今後最も力を入れて発展させたい産業や地域政策について聞きたい。	<p>回答者：知事</p> <p>栃木県は「ものづくり産業」を大事にしていかなければならない。優秀な技術者を県内で育成し、働いて活躍してもらう仕組みを強化し、栃木県はものづくり県だと認識されるよう取り組んでいる。</p> <p>一方で、農業・林業・観光といった分野でも収益を上げ、県内で生まれ育って暮らす人や移住してきた人が、自分の能力を最大限発揮し、それに見合った報酬を得られる環境づくりが重要であると考えている。県民所得は以前は3位であったが、コロナによる輸出減もあり、現在は全国5位である。</p> <p>また、経済安全保障の流れの中で国内回帰が進み、企業が外国に技術を持ち出さず、日本国内で生産する動きが強まっているなかで、栃木県も企業誘致を進めており、多くの企業が、研究所の設置や本社移転も行ってくれている状況である。</p> <p>県民一人ひとりが、自分の能力を発揮できて、豊かな生活を送れるようにすることが目標である。そのために、ものづくり産業、農林業、観光業に力を入れ、稼ぐ・稼げる栃木県を実現し、幸福度の高い栃木県を維持・向上させていきたい。</p>	<p>環境森林部 林業木材産業課 (生産力強化担当) TEL:3277</p> <p>産業労働観光部 産業政策課 (企業立地班) TEL:3202</p> <p>工業振興課 (ものづくり企業支援室) TEL:3192</p> <p>労働政策課 (労働経済・福祉担当) TEL:3536</p> <p>観光交流課 (観光地づくり担当) TEL:3210</p> <p>農政部 農政課 (農政戦略推進室) TEL:2283</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
7	県内交通の 利便性向上 について	生産機械シス テム技術科 2年	<p>栃木県は比較的東京にも行きやすく、いろいろなところに電車が通っているので交通の便はいいと思うが、栃木県内での電車の乗り換え等で少し不便だと感じるところがある。</p> <p>電車で通学していた際も、乗換の時間が非常に短く、毎回電車に飛び乗っていた。</p> <p>そういった県内での交通の便、乗り換えの便の向上について考えを聞きたい。</p>	<p>回答者：知事</p> <p>電車だけでなく、バスや新幹線も含めて最終列車・始発列車、乗り換えの在り方などが重要であり、県庁には様々な意見が寄せられている。</p> <p>各交通会社に要望を出してもすぐに受け入れられるわけではないが、毎年のダイヤ改正に合わせて地元利用者の声を届けている。</p> <p>小山では、古河駅発の朝の快速電車を小山駅発にしてほしいという要望があるが、小山から乗る人が少ないと言われ断られてしまう。利用者数はビジネス上重要だが、利便性が高まれば利用者も増えるという面もあり、鶏と卵の関係のような状況である。</p> <p>JR東日本はこれまで大宮支社と高崎支社の2社体制で、宇都宮線と両毛線を別々に管理してきたが、今後、栃木県に事業本部が設置されれば、県内全体を一体的に見たサービス向上の体制が整う見込みであり、令和8年に立ち上がる予定である。</p> <p>また、北海道新幹線についても、新函館北斗発の列車を宇都宮に停車させるよう求めているが、「降りる人がいない」と言われてしまう。</p> <p>引き続き、各交通事業者に対して、乗り継ぎなどの利便性向上に向けて、意見を伝えていく考えである。</p>	<p>県土整備部 交通政策課 (公共交通担当) TEL:2377</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
8	栃木県内の おすすめの場 所について	生産電気ス テム技術科 2年	栃木県に来て4年目となるが、私自身も含め栃木県の魅力について、あまり知らない方が多いと感じている。そこで、知事の目線や感性で、栃木県のおすすめの観光地などがあれば教えて欲しい。	<p>回答者：知事</p> <p>何に興味があるかにもよる。例えば、焼き物に興味があるなら益子や那珂川町小砂、餃子やシウマイを食べたいなら宇都宮や鹿沼をおすすめする。日本そばが好きであれば日光例幣使街道や鹿沼市粕尾、那須烏山市の「八溝そば街道」などがあり、地域によって味が違うため、そこに行かないと食べられない味を楽しむことができる。とちぎ和牛を味わいたい場合は観光地や宇都宮市内のレストランで楽しめる。イチゴ狩りなら小山、益子、真岡などがあり、特に「とちひめ」という一番甘いが傷みやすく日持ちしないため市場に出回らない品種を、観光農園では食べるができる。</p> <p>自然を楽しみたい場合は奥日光や那須が適しており、歴史遺産を見たい場合は足尾に行けば銅山や公害の歴史まで学ぶことができる。中禅寺湖畔には、戦前に各国の大使館別荘が並んでいた歴史があり、現在もベルギーとフランスの別荘が現役で残っている。イギリスとイタリアの別荘は栃木県が取得し再整備して一般公開しており、建築様式の違いから各国の文化の違いを感じることができる。館内ではスコーンやコーヒーなど、その国にちなんだ軽食も楽しめる。</p> <p>このように、何を見たいか、何を食べたいかが決まれば、それに合った場所が県内には数多くあり、県の観光情報公式サイト「とちぎ旅ネット」を始め、Instagram「とちたび」などで観光情報を発信しているので、興味に応じて調べて訪れてほしい。</p>	産業労働観光部 観光交流課 (観光プロモーション 班) TEL:3305

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
9	栃木県内の穴場の観光地について	生産電子情報システム技術科 2年	人口が減少している集落などを訪れる観光がとても魅力的だと感じている。こうした場所で観光といえば、焼き物や歴史的な建物など、地域の特色を活かして観光業として整備された場所が中心だと思う。 そうではなく、あまり情報が出てこないような、小規模な山あいの集落など、観光業としてはまだ普及していない穴場の観光地があれば教えて欲しい。	回答者：知事 那珂川町(旧馬頭町)の小砂地区は、「日本で最も美しい村」に栃木県で唯一認定されており、一見の価値がある地域である。小砂焼の窯元もあり、趣のある茶色を基調とした器などが作られており、穴場の観光地としてぜひ訪れて欲しい。 これまでの観光のスタイルは京都や奈良、大阪のような華やかな場所を巡るかたちが多かった。しかし今では、自分たちで作ったものを食べ、景色を眺めながら過ごすといった、心を癒やすスタイルへと変わりつつある。 そこで大田原市では、農家に宿泊し食事を共にする「農泊」という取組に力を入れている。首都圏の中高生や大学生、外国人観光客が訪れており、新米や菊の花の酢漬け、きんぴらなど、地元で普段食べられている料理が好評である。 農家民泊は県内外や海外からも利用されており、今年度からは県全体で取り組むよう進めている。	産業労働観光部 観光交流課 (観光プロモーション班) TEL:3305 農政部 農村振興課 (農村・中山間地域担当) TEL:2333
10	知事になる方法について	生産電気システム技術科 2年	知事になりたいと思っているので、知事になる方法やなるための心構えがあれば教えて欲しい。	回答者：知事 知事になるためには、「知事になりたい」ではなく「知事になる」という強い決意が重要である。政治家の秘書経験は必須ではなく、日常生活の全てが政治や行政につながっていることを意識し、自分が市議会議員や市長、国会議員、知事などの立場になったら「こうした」というビジョンを明確にし、訴えていくことが求められる。 選挙は一人ではできない(戦えない)ため、自分の考えを支え、応援してくれる仲間の存在が不可欠である。自分自身も高校のクラス会で「宇都宮市議会議員になりたい」、「宇都宮市長になりたい」、「知事になりたい」と毎年、毎年、毎年言い続けてきた。最初は笑われながらも、29歳で県職員を辞めて選挙に出るころには、これらの言動が本気であると認められ、多くの支援を得られるようになった。 したがって、まずは「自分がその立場になったら何をしたいのか」というビジョンを持ち、その実現を応援してくれる核となる仲間をつくるのが大切である。お金の多寡は関係なく、必要なのは情熱である。	総合政策部 広報課 (広聴担当) TEL:2158

※関係課名(担当)欄の電話番号は市外局番の表示があるものを除き、栃木県庁028-623-各課共通(4ケタ番号)を記載しています。